

東京大学履修証明 プログラム 心理・対人支援職 育成 2026年度 受講生募集 2026.1.8〆切

- ☑ 多様な分野・職種の人と学べます
- ☑ 履修証明書が授与されます
- ☑ 3つの基本素養を軸に学びます

1. Trauma-Informed care ト라우マを熟知して支援できる
 2. Co-Production 当事者と共同創造できる
 3. Organizational Change これらの実現のため組織文化を変革
- ※頭文字から「TICPOC」と呼んでいます

TICPOC



C-1コース 心理支援職

■医療、教育、産業、福祉、司法など様々な領域で、心理支援に従事する公認心理師・臨床心理士、あるいはそれらの職を目指す学生等が主な対象です。

■看護師、精神保健福祉士、作業療法士、保健師、教員、養護教諭、医師など多様な職域の社会人で、個人の心理・行動のアセスメントに基づく、多職種協働における支援力向上を目指す方等も対象に含みます。

開催形式

基本的に全日程、東京大学（本郷）構内で行う。

※東大本郷キャンパス（文京区本郷7-3-1）

※対面とオンラインのハイブリット対応や録画配信はございません。

受講期間

2026年4月～2027年3月

応募資格

(1)(2)双方を満たす方

- (1) 4年制大学卒業生、または大学卒業生と同等以上の学力を有すると認められた22歳以上の方
- (2) 医療、学校、行政(保健・福祉)等の領域で対人支援職を目指す方。又は、既に対人支援に従事しており、さらに高度な知識・技術を身につけようとする方

募集人員

職域架橋型コース（C-1）40名、地域連携型コース（C-2）60名

※C-1とC-2の両方のコースの申込みも可能です。

C-2コース 地域・社会対人支援職

行政、社会福祉、学校教育、NPO法人等で対人支援職に従事する社会人、あるいはそれらの職を目指す学生等が主な対象です。

医療職等で地域との連携について学びたい方、心理職等個人の支援にあたる方で社会モデルにもとづく支援の視座を深めたい方等も対象に含みます。

出願期間

2025年11月17日～2026年**1月8日（消印有効）**

（書類選考・必要に応じてオンライン面接）

出願先

〒113-8655 東京都文京区本郷7-3-1

東京大学 CRC A棟1F 精神神経科 TICPOC事務局

出願書類

履歴書・エントリーシート・志願理由書・応募資格を証明する書類等

詳細：<https://co-production-training.net/application-c/>

選考発表

2026年1月30日（郵送又は電子メールにて通知する。）

受講を認められた方には関係書類を送付する。

受講料

各コース1年間 9万円（学生は5万円）

※他コースの受講者が本コースの講義を単回受講する場合は、
1.5万円/日（学生は0.8万円/日）の受講料となる。

※C-1・C-2両コース受講の場合1年間15万円（学生: 8万円）



お問い合わせ

〒113-8655 東京都文京区本郷7-3-1 東京大学 CRC A棟 1階 精神神経科 TICPOC事務局

E-mail: utokyo.coproduction.training@gmail.com URL: <https://co-production-training.net/>

2026年度プログラム

- 時間9:00-18:00 オリエンテーションや振り返りを含みます。（コアタイム 10:00～16:30）
※他に外部実習あり、詳細は講義初日にご説明します。
- 形式基本的に全日程、東京大学(本郷)構内で行います。東大本郷キャンパス(文京区本郷 7-3-1)
※対面とオンラインのハイブリッド対応や録画配信はありません。
- 司会TICPOC事務局スタッフ 笠井清登・熊倉陽介・金原明子、高橋優輔・田尻智哉 他
- その他講師、講義タイトル、内容は変更となる可能性があります。

C-1・C-2 合同講義

4/5 (日)	午前	TICPOCオリエンテーション (支援する人と支援される人との関係に 生じていることをどう見て、扱っていくか)	笠井清登 熊倉陽介 TICPOCスタッフ	東京大学医学部附属病院
	午後	当事者研究	熊谷晋一郎 綾屋紗月 上岡陽江	東京大学先端科学技術研究センター教授 東京大学先端科学技術研究センター教授 ダルク女性ハウス代表
9/27 (日)	午前	カウンセリングとは何か	東畑開人	白金高輪カウンセリングルーム 臨床心理士
	午後	多職種協働における折衷主義から多元主義へ Values-based practice —価値観の多様性に向きあう実践医療倫理—	村井俊哉 榊原英輔	京都大学大学院医学研究科教授 東京大学大学院医学系研究科講師
2027年 3/14 (日)	午前	手の届き難い方への精神分析的アプローチ ～援助提供モデルと自己理解促進モデルの 長所と短所～	若佐美奈子	神戸女学院大学心理学部准教授
	午後	TICPOCふりかえり (今後の実践に向けた概念と課題の整理、 支援者支援)	笠井清登 熊倉陽介 TICPOCスタッフ	東京大学医学部附属病院

C-1 職域架橋型コース

5/17 (日)	午前	総合病院の心理臨床と支援者支援	館野由美子 千葉ちよ	国家公務員共済組合連合会虎の門病院 心理部長 臨床心理士/公認心理師 東京医療センター精神科 臨床心理士/公認心理師
	午後	トラウマ焦点化治療	亀岡智美	兵庫県こころのケアセンター 副センター長
7/12 (日)	午前	被害者支援～TICに基づく支援と支援者支援～	鶴田信子	被害者支援都民センター心理相談担当責任者
	午後	精神分析	池田暁史	大正大学臨床心理学部教授
10/18 (日)	午前	患者・家族の言葉からみえてくるがん療養生活	赤穂理絵	東京共済病院 緩和ケア内科医師
	午後	見えない心を可視化する —心理アセスメントによるケース理解 —	中村紀子	中村心理療法研究室 治療的アセスメント・ アジアパシフィックセンター臨床心理士
2027年 1/24 (日)	午前	『責任、帰責性、「自己責任」』	國分功一郎 熊谷晋一郎	東京大学大学院総合文化研究科・教養学部教授 東京大学先端科学技術研究センター教授
	午後	当事者としての治療者の強さと弱さ	富樫公一	甲南大学文学部教授

C-2 地域連携型コース

6/21 (日)	午前	共同創造～研究・医療・医学教育における導入 の試みから学んだこと～	山口創生 里村嘉弘 金原明子	国立精神・神経医療研究センター室長 東京大学 医学のダイバーシティ教育研究センター 東京大学医学部附属病院助教
	午後	共同創造～様々な場所における当事者の活躍～	山田悠平 佐々木理恵	精神障害当事者会ポルケ代表理事 東京大学 医学のダイバーシティ教育研究センター 学術専門職員・ピアサポートワーカー
8/23 (日)	午前	22q11.2欠失症候群 -重複する障害を抱えた 子どもとその家族の生活-	「22 HEART CLUB～ 22q11.2欠失症候群の 子どもとその親が集う サークル」会員	22 HEART CLUB
	午後	薬物依存症をもつ人を地域で支える	松本俊彦	国立精神・神経医療研究センター部長
12/20 (日)	午前	複雑なトラウマを抱える人の支援と回復	野坂祐子	大阪大学大学院 人間科学研究科教授
	午後	東日本大震災被災地における メンタルヘルス対策	大塚耕太郎	岩手医科大学医学部神経精神科学講座教授
2027年 2/21 (日)	午前	精神障害にも対応した地域包括ケアと権利擁護	藤井千代	国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 地域精神保健・法制度研究部長
	午後	地域における退院支援・若者支援の実践と 人材育成	田尾有樹子	社会福祉法人巣立ち会理事長